



平成27年度「篠ノ井西中学校 学校通信」



布施だより

発行日 平成27年7月27日

第15号(191号) 校内版

長野市立篠ノ井西中学校

電話(026)292-0244

FAX(026)292-7880

担当:教頭 中山

《 真夏の学習・追究から ～ 書くこと・説明すること ～ 》

夏休み前の授業追求の様子からです。

今年の「グランドデザイン」の柱である「基礎・基本の学力の確かな定着と『活用する力』の向上」に関わって、1学期には「書くこと・説明すること」を教科会の課題に据えました。「書くこと・説明すること」に着眼した教材研究と授業改善を日々の課題にしつつ、「英語科」と「社会科」での生徒の追究の様子をお伝えします。

【 There is～ 】

英語科の2学年授業です。主眼は「授業者の英語を聞いたり、口頭練習をしたりして、『○○が～何処に～ある(いる)。』の表現と、その疑問文を理解した生徒が、ペアで異なる絵を見ながら、聞いたり応えたりする追究を通して、絵の中の部屋の様子を正しく英文にまとめることができる。」です。

1学年次に「on、in、by、under」の位置関係を表す前置詞を学んだ生徒たちは、このユニットで初出の「There is～、There are～」の言葉の解釈と文型を見事にクリアーし、言葉に乗せていきます。初めての出会いの言葉を獲得していくことに驚いていると、それは「This is a ball.」—「Its yours?」—「Where is a ball?」・・・と段階を踏んだ環境設定を授業者が積んでいくから類推できるのだ、ということを後の科内研究会で教えていただきました。・・・ところが存在を表す「There is～、There are～」

の定着度合いが3年生になっても非常に低いのだそうです。それは使用頻度が少ないことを明らかに意味しているのでしょうか。そう言われてみると、古文の「昔、男ありけり。」の存在表現に思いを馳せ、その上に高校の古典で「あり・をり・いますがり」の差異を味わったねえ～と、戸惑っていたかつての時期を振り返りながら生徒の変化を楽しく参観していました。

生徒は架空の「部屋の状況」を英文に換え、慣れてきた生徒はわずかな追究の合間に5文を書き入れます。ペアで交わっていた言葉が、文字化することで定着していく大切な学習の時間です。3年生になっても、「There is～、There are～」が生徒の学力として定着していることが、実感できる追究でした。



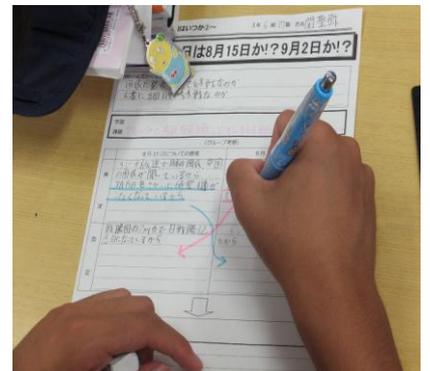
【 8月15日か？ 9月2日か？ 】

社会科3学年の歴史授業です。主眼は「日本が8月15日を終戦の日としている理由を理解して、8月15日以降も様々な動きがある中で、戦後改革が始まった流れを大観する。」、学習問題は「終戦の日は8月15日か？9月2日か？」でした。生徒からの期待する反応の根拠ワードは「8月15日・玉音放送・9月2日・降伏文書調印」です。

さすが3年生、考えを「書くこと」のできる生徒が多くいます。

- ・「8/15説派＝「(その日を境に) 偵察機が来なくなったから、その国の人たちが喜んだ。一方で、降伏したことを悔しがっている日本国民がいた。(なので、8月15日が終戦記念日)」
- ・「9/2説派＝玉音放送が流れたのは、8/15だが、連合国に降伏文書を渡したのは9/2なので、正式に戦争が終わったのは9/2である。」

日本にとっての歴史的事実は厳然としているのですが、教科書会社によつての記述の違いに着目することで、ねらいにある「8月15日以降も様々な動きの中で、戦後改革が始まった流れ」の歴史的、社会的状況に生徒たちは身を置くこととなります。追究の中で、年表データを分析して読み込み、その読み込んだ考えを根拠とすることに長けた生徒も見受けられます。限定された情報の中で、取捨選択をしつつ課題解決に迫る。そして、それらをカラーペンでラインを引いたり、矢印で差し替えたりしながら、生徒たちは考えを深めたり、広めたり、あるいはシンプルにしたりして、より確かで柔軟性のある学びを獲得しようとしていました。



3年生が着実に知的好奇心を育てようとした社会科学習でした。

《夏の活躍 ～北信吹奏楽コンクール・県中学校総合体育大会～》

- 《男子バスケットボール部》 1回戦 対箕輪●29-60
- 《ソフトボール部》 2回戦 対裾花●1-2
- 《柔道部》
- 【男子団体】 対豊科北○3-2 対上田一●0-5
 - 【女子団体】 対丘 ●0-3
 - 【男子個人】 柳澤圭亮さん 2回戦敗退 (ベスト8)
市川弥さん、塚田琳司さん 1回戦敗退
 - 【女子個人】 依田夏さん 2回戦敗退 (ベスト8)
平林笑佳さん 1回戦敗退
- 《バドミントン部》
- 【団体】 1回戦 対南木曾 ●0-3 2回戦 対伊那○2-1
3回戦 対長野北部○2-1 予選リーグ 2位
決勝トーナメント 対赤穂… ●1-2

【女子ダブルス】 岡村彩矢里さん・水上沙蘭さんペア

1回戦 対赤穂●1-2

【女子シングルス】 太田捺美香さん

1回戦 対丘 ○2-0 2回戦 不戦勝

準決勝 対南木曾●1-2 3決対 南宮○2-0

祝 3位で北信越大会出場

田中愛さん

1回戦 対南木曾●0-2

《水泳競技》 小林大真さん

100平 1分17秒49 17位

200平 2分47秒72 15位

《吹奏楽部》 長野県吹奏楽コンクール地区大会

A編成 銀賞



〈壮行会にて〉

《 夏休みに向けて～長野上水内教育会夏季大学・防火運動・教育相談 等～》

1 長野上水内教育会夏季大学のお知らせ

教育会主催の夏季大学が開催されます。教職員の研修内容の一端をご理解いただくとともに、保護者の皆様と同じ場で共に学ぶことができると考えております。平日のお仕事と重なるかと思いますが、ご都合を付けてご参加いただければ幸いです。

○第1講座 7月29日(水) 10:05～12:05・13:05～15:20 於：若里市民文化ホール
哲学・宗教「いのちの尊さ・・・尽真心」

講師：天台宗総本山比叡山延暦寺執行 小堀光實 先生

○第2講座 7月30日(水) 9:30～12:05・13:05～15:20 於：若里市民文化ホール
科学・教育「力のある学校をつくる ～すべての子どもの学力保障に向けて～」

講師：大阪大学人間科学研究科教授 志水宏吉 先生

*申込等は不用です。駐車場は旧カネボウ跡地駐車場をご利用ください。



2 長野市消防局「夏の防火運動」実施について

市消防局より「防火」についての依頼がきております。

- ・運動実施期間 7月18日(土)～8月18日(火)
- ・運動内容 花火による火災防止 火遊びによる火災防止
家庭内での火の用心の呼び掛け

3 夏休み中も「教育相談」に対応しています。ご活用ください。

相談内容	担当者	職名等	対象
学校生活や子育ての悩み全般 *相談は随時受け付けます。 担任等にご連絡ください。	戸谷 佳子	スクールカウンセラー	保護者・生徒
発達課題や就学相談について	中島真由美	特別支援コーディネーター	保護者・生徒
登校支援、校内外中間教室登校に 関わって	小山 嘉子	登校支援コーディネーター	保護者・生徒
生活指導全般に関わって	渡辺 忠志	生徒指導主事	保護者・生徒
スクールセクハラ・パワハラ等	押鐘 美幸 中山 久貴	養護教諭 教頭	保護者・生徒

4 夏休み中の過ごし方・学校無人化について

7月29日(水)～8月18日(火)の期間、夏休みになります。(28日、1・2年生は計画休です。)

1学期の自分を振り返り、2学期へ向けてエネルギーを蓄える時期になります。早寝早起きに留意して、自らが体調の管理に努められるよう計画等一緒に立てていただけたらと願っています。学校から離れ、ひとりになって学習や自分の時間に向き合う大切な時間になります。自立した生活を期待しつつ、まだまだ幼い面を持ち合わせているのも中学校時代です。配布いたしました「夏休みの過ごし方」を参考に、生活リズムを崩さぬよう、健康に留意していただき、事故や事件に遭わぬよう・巻き込まれぬようご家庭でのご指導宜しく願いいたします。



気がかりなことがございました時には担任、学年職員にご連絡ください。

8月19日、675名の生徒諸君との再開を心待ちにしています。

*夏休み中の13日(木)～14日(金)の間、学校は日直を置かず無人化になります。

緊急の連絡等は担任、学年職員をお願いいたします。(15日・16日は土・日になります)